



東山小学校だより

令和 2年12月24日

※ 町内配付12月25日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

2学期終業…明日から冬休み！

本日、終業式を行い85日の2学期が終わりました。大きな事件・事故そして臨時休校等もなく無事に年の瀬を迎えられることに胸をなで下ろしています。日頃の学校生活はもとより、様々な行事を大過なく終え、成果を収めることができましたのも、子どもたち、保護者・地域の皆様のおかげと改めて感謝しています。

これまでお伝えしてきたように、1学期の行事を2学期に繰り越したおかげで、例年にもまして行事の多い2学期でした。繰り越した行事がどうこうというより、行事や活動がなかった（できなかった）1学期を過ごしただけに、余計に忙し^びなさを感じたのかもしれませんが。特に11月8日の文化祭・学習発表会までが大忙しでした。文化祭後は一転して、しっかりと学習に取り組む落ち着いた学校生活となりました。中学校区の家庭学習強調週間を通じて、しっかりと家庭学習にも取り組むことができました。また公開授業（当校および他校の先生方が参観する授業）が4年生で2回、5,6年生で1回あり、そこでは子どもたちが日頃からしっかりと学習を積み重ねている様子を見取ることができました。

明日から14日間の冬休みとなります。外出自粛等が求められる下で、クリスマスやお正月に例年のような高揚感はありませんが、そのぶん子どもたちには、家族で過ごす心温まる楽しい冬休みにしてほしいと願っています。

東山の子ども 冬休みのくらし

「規則正しい生活をおくり、安全に気を付けて楽しく過ごそう。」

- 1 安全に気を付けよう。5つの用心=5用心
「火」 火事ややけどに注意しよう。
「雪」 雪庇や吹きだまり、雪山に注意しよう。
「車」 交通事故に注意しよう。
「金」 お金のトラブルに注意しよう。
「人」 不審者に注意しよう。
- 2 自分の生活リズムをつくり、健康に過ごそう。
検温・手洗い・マスク着用など感染予防をしよう。
- 3 家族や地域とのふれあいを深めよう。
- 4 緊急連絡先を確認しておこう。

小学校からのお知らせ…

◎住民センターに「東山小学校 掲示板」登場！

今月半ばから東山住民センターの玄関ホールに掲示板「東山小学校の子どもたち」を設置させていただきました。掲示板には、この「学校だより」と各学級の「学級だより」、そして学校ホームページの「最新ブログ」があります。地域の皆様は学級だよりをご覧になる機会がほとんどないと存じますが、毎週発行されるので、より東山小の子どもたちの様子がお伝えできると思います。学級だよりは毎週火曜日に更新（貼り替え）する予定です。どうぞご覧ください。

◎「NHKクールジャパン『牛』」NHK BS1で放映

子どもたちと牛太郎がNHK BS1(全国放送)で放映されます。スペイン人の青年イヴァン君が、クールジャパンに乗じて日本を訪ね「越後で牛の角突きに出会った～」的な旅番組風の構成らしいのですが、詳しくは分かりません。放映予定日はお正月です。

1月3日(日) 19:00~19:45 (再放送) 1月12日(火) 21:00~21:45

ロケ風景から…千秋楽当日、子どもたちが「闘牛の歌」を練習しているところにイヴァン君が現れます。「どうして校歌の歌詞『闘牛』が入っているの？」という質問に子どもたちが答えます。台本無しの質問に子どもたちがどう答えるのか、乞うご期待…

担当ディレクターからは、なかなか良い番組に仕上がっていると聞いています。子どもたちだけでなく、間野会長さんや子どもたちの先輩勢子として隼人さんもフォーカスされるようです。お楽しみに…ぜひご覧ください。

大盛況！「自分ステキ☆宣言」～未成年の主張～ in 東山

前号でお伝えしたとおり「自分ステキ☆宣言」を17日(木)の昼休み（なかよしタイム）に行いました。児童一人一人が順番にギャラリーの上からフロアのみんなに向かって、マイクを使わずに大きな声で、自分の良いところ、得意なこと、好きなことを宣言しました。

宣言をするときには少し緊張している人もいましたが、とても盛り上がり、笑顔が溢れていました。これまでで一番と言っても過言ではないような子どもたちの姿に、晴れ晴れとした、とても嬉しい心持ちになりました。

もう一つ…嬉しいことに、お一人ではありましたが、地域の方が見に来てくださいました。いつもの事ながら、保護者や地域の方がおいでになると、子どもたちは俄然張り切ります。その方からも「子どもたちから元気をもらえる」と嬉しい言葉をいただきました。



努力を讃え…「山っ子テスト」表彰

終業日恒例の山っ子テストの表彰を行いました。全校19名中、漢字は16名、計算は13名が優秀ドリルマスターでした。さらに5年生の芽生さん・咲生さん、6年生の孝太さん・結衣さんは漢字テスト全回満点のパーフェクト表彰を受けました。計算テストのパーフェクト達成者はいませんが、毎週のテストでうっかりミスもなく、1問も間違えずに満点を獲得し続けるのは容易なことではありません。パーフェクトの4名をはじめ、たくさんの行事を頑張る一方で、本分である学習を積み重ねた山っ子たちに、惜しみない拍手を贈ります。



新聞を読もう！

ここ数年来言われていることですが、近年、新聞を取っていない家庭、新聞を読まない人が増えているそうです。理由は言うまでもなく、インターネット、スマートフォンの普及です。新聞から情報を得なくても、いつでもどこでも欲しい情報が手に入るということだそうで、もっともな意見です。特に物心ついた時からスマホに触れている若年層では、新聞を日常的に読む人は1割程度との調査報告もあります。

新聞、インターネット、テレビやラジオなど、それぞれに長所と短所があり、それぞれの特性を理解した上で上手に活用していくことが大切であることは言うまでもありませんが、新聞の一番の特徴は、様々な情報を広く得ることができることです。ある特定の興味関心があることを求めて情報を得たい時にはインターネットは大変便利ですが、新聞は国際的なニュースから日本国内の重大ニュース、そして地方・地域の小さなニュースまで、まんべんなく報じられています。また社説や投稿欄、地域版があることも新聞の特徴と言えるでしょう。

世の中で起こっていることを広く知り、いろいろな考えに触れるには社説や投稿欄に目を通すのが有効です。投稿欄には時折、小、中、高校生の投稿も掲載されます。しっかりとした文章を読むことで、国語の力が伸びることも期待できます。「新潟日報」ならば、4ページ前後にある「社説」と「窓」、1面の「日報抄」もオススメです。また新潟日報では、以前は毎週火曜日に別紙で発行されていた、子ども向け紙面「ふむふむ」が、6月から1ページ分の「まいにちふむふむ」として朝刊に入るようになりました。土曜日は中学生向けとなっていますが、日曜から金曜は小学生向けで、とても読みやすく分かりやすい記事です。

子どもたちには、ぜひ時間のある冬休みに、毎日少しずつでも新聞に目を通してほしいと思います。学校では3学期から玄関ホールに子どもたちが新聞を見られる談話コーナーを作る予定です。20分休みや昼休みに、体を動かして遊ぶのも良いですが、自由に新聞を読んだり、記事を話題にして話せたりできたら、とても良いスペースになると考えています。